

蘭越町立学校の教職員に係る超過在校等時間の公表（令和6年度後期）

1 公表に向けた考え方

蘭越町教育委員会では、「学校における働き方改革蘭越町アクション・プラン（第3期）」において、教職員の在校等時間から所定の勤務時間を減じた「時間外在校等時間」を1か月45時間以内、1年間で360時間以内とする目標を掲げています。

町立学校において、令和2年度に導入した出退勤管理システムにより把握した教育職員の超過在校等時間を定期的に公表し、働き方改革に関する取り組み状況を確認することにより、長時間勤務の縮減に向けた実効性を確保します。

2 町立学校教育職員の超過在校等時間の状況（教職員数 小学校30名※、中学校16名※）

区分	学校種別	超過在校等時間別人数			全職員平均
		45時間以下	45時間超	80時間超	
令和6年 10月	小学校(2校)	19人(63.3%) 15人(51.7%)	11人(36.7%) 13人(44.8%)	0人(0%) 1人(3.5%)	40時間52分 43時間20分
	中学校(1校)	10人(62.5%) 12人(70.6%)	6人(37.5%) 5人(29.4%)	0人(0%) 0人(0%)	39時間46分 37時間08分
令和6年 11月	小学校(2校)	26人(89.7%) 22人(75.9%)	3人(10.3%) 7人(24.1%)	0人(0%) 0人(0%)	30時間11分 34時間43分
	中学校(1校)	12人(75.0%) 15人(88.2%)	4人(25.0%) 2人(11.8%)	0人(0%) 0人(0%)	32時間10分 30時間05分
令和6年 12月	小学校(2校)	27人(93.1%) 22人(78.6%)	2人(6.9%) 6人(21.4%)	0人(0%) 0人(0%)	27時間04分 30時間11分
	中学校(1校)	12人(75.0%) 14人(82.4%)	4人(25.0%) 3人(17.6%)	0人(0%) 0人(0%)	30時間31分 26時間08分
令和7年 1月	小学校(2校)	29人(100.0%) 29人(96.7%)	0人(0%) 1人(3.3%)	0人(0%) 0人(0%)	20時間31分 20時間14分
	中学校(1校)	14人(87.5%) 15人(88.2%)	2人(12.5%) 2人(11.8%)	0人(0%) 0人(0%)	27時間03分 25時間38分
令和7年 2月	小学校(2校)	25人(86.2%) 25人(83.3%)	4人(13.8%) 5人(16.7%)	0人(0%) 0人(0%)	30時間01分 37時間34分
	中学校(1校)	12人(80.0%) 12人(70.6%)	3人(20.0%) 5人(29.4%)	0人(0%) 0人(0%)	30時間46分 29時間57分
令和7年 3月	小学校(2校)	25人(86.2%) 25人(83.3%)	4人(13.8%) 5人(16.7%)	0人(0%) 0人(0%)	31時間57分 34時間18分
	中学校(1校)	7人(46.7%) 13人(76.5%)	7人(46.7%) 4人(23.5%)	1人(6.6%) 0人(0%)	41時間15分 35時間05分

※ 下段は、前年同月の数値

<補足事項>

※小学校 11 月以降 29 名、中学校 2 月以降 15 名

※教育職員とは、校長、教頭、教諭、養護教諭、栄養教諭等をいいます。

※在校等時間とは、教育職員が在校している時間を基本とし、校外で活動する時間を加え、自己研鑽その他業務外の時間及び休憩時間を除いた時間をいいます。

3 令和6年度後期における超過在校等時間の考察について

小学校では、令和7年1月を除き、超過在校等時間が前年より減少しており、職員会議の見直しや業務の効率化などの成果が出ているとみられます。

蘭越中学校においては、すべての月で超過在校等時間が前年より増加しており、学校行事の準備や学期末・学年末を迎え、前年度から教員が1名減少したことが影響を及ぼしたものとみられます。

また、特定の職員が大きく超過している状況が続き、月80時間を超過した職員もいることから、引き続き、意識改革や業務の平準化に向けた対策が必要となります。